

令和3年度 第2回佐久市スポーツ推進審議会（書面会議）における意見等について

1 第二次佐久市スポーツ推進計画（素案）に係る修正等の意見について

素案の内容や文言の修正等はありませんでした。

2 今後のスポーツ施策の参考とさせていただく意見について

箇所	意見等	意見等の理由	対応等	
P29	基本目標1 1(3) 子どもがスポーツに親しむ環境の充実	学校部活動の地域部活動への移行を具体的にどのように進めるのか。	少子化が進む中で今後の部活動の在り方は重要と考えているため。	部活動の地域移行に関しては、国において昨年10月に検討会議を立ち上げ議論を進めているところであり、当市でも1月に地域スポーツ団体との意見交換会を行ったところがあります。 具体的な進め方については、検討段階ではありますが、P29の(3)「子どもがスポーツに親しむ環境の充実」で記載のとおり、関係団体などとの連携強化を図ってまいります。
P35	基本目標3 1(2) スポーツを通じた地域活動の担い手への支援	地域スポーツ団体への支援は、具体的にどのように進めるのか。	スポーツの推進には支える団体への支援が重要であるため。	具体的な支援としましては現在、体育協会については、運営に対する補助金交付、総合型地域スポーツクラブについては、安定的な運営のため事業委託や使用料の減免、スポーツ少年団については助成金交付や使用料の減免などを実施しております。 今後もスポーツ推進審議会や機会を捉えて、必要な支援の把握に努めてまいります。
		スポーツ少年団・一般のクラブチーム・市主催のスポーツ教室の違いが分かりにくいように感じている。スポーツ課で市民の方が分かりやすいように一覧を作れないか。	スポーツ活動に参加したいときなど、スポーツ団体に関する情報が入手出来ずに苦労している方が周りにいるため。	スポーツ参加を促すため、今後、市内スポーツ団体に関する情報などの周知方法を検討してまいります。
P36	基本目標3 2(2) 指導者の発掘・養成	指導者への研修会が重要と感じているので、積極的に開催をしてほしい。	指導者の資質向上のためには必要と感じているため。	指導者の資質向上のため、様々な分野の研修会を開催し、参加の促進を図ってまいります。
		他の団体がどのように活動や指導をしているのか普段、関わる機会がなく分からないので、意見交換の場などを設けられないか。	他の団体のいい部分を共有し、更なる指導力向上につながるため。	研修会や会議の際に他の団体との意見交換の時間を設けるなどの工夫をしてまいります。

箇所	意見等	意見等の理由	対応等
P35 基本目標3 1(2) スポーツを通じた地域 活動の担い手への支援	休日の部活動(中学校)の段階的な地域移行 に向けた受け皿づくりもお願いしたい。	学校の働き方改革を踏まえ、文部科学省から 指針として打ち出されているため。	国は中学校部活動の地域移行を令和5年度から 段階的に行うと示しており、当市でも検討 を進めているところであります。 特に受け皿のひとつである地域スポーツ団体の 役割が重要と認識していることから、円滑 な移行に向けた連携を図ってまいります。 なお、部活動の地域移行に関する内容は、P 29の(3)「子どもがスポーツに親しむ環 境の充実」での記載としております。
P23 計画的な施設整備の推 進	身近な施設・場所でのスポーツの充実を図る には、現在地域の存在する体育施設は統廃合 すべきではない。	「快適健康都市 佐久」を実現するた めには、現存する地域の体育施設を残し身近な施 設、すなわち近所にある体育館が必要であ る。統廃合とか「佐久市公共施設等総合管理 計画」に記載されている集約化をすれば、 益々運動する場所や時間は限られ、遠方に出 向く事になり自由な時間が減少し、スポーツ をする機会が更に少なくなるだろう。つま り、使える施設や条件が限られ希望通りに使 用出来ない状況等や特に高齢者は交通手段が 課題となる。老朽化の基準や経費削減をどう とらえるか判断基準は不明だが、今ある体育 施設を少しでも快適に便利な状態にする為、 改修工事を行い末永く大切につかえる方が、 第二次スポーツ推進計画の内容に当てはまる と感じる。そして、地域の体育施設等は災害 時の重要な避難場所でもあり、スポーツばか りでない多様な活用ができる場所でもある。 記載内容が、言葉だけの列記ではなく矛盾を 感じない「佐久市教育振興基本計画」のス ポーツ分野における個別計画として、整合を 図るべきではないだろうか。	スポーツ振興には身近な施設・場所の充実が 重要と認識しております。 しかしながら、体育施設を含む公共施設等 の多くは老朽化が進み更新の時期を迎え、更新 や維持にかかる費用への対応が課題となっ ております。 また、人口減少の進行が財政面、利用状況に 影響を及ぼすことから、本市では「佐久市公 共施設等総合管理計画」「個別施設計画」を 策定し、持続可能な行政財政運営を図ること としております。 これらの計画に基づき、今後の施設の利用状 況や近隣施設の状況を踏まえるとともに、関 係団体などの意見を伺いながら、計画的な施 設整備を推進してまいります。
P24 スポーツを通じた地域 の活性化			
P26 基本目標2			
P31 基本目標3 1(2) 生涯スポーツの推進			
P33 基本目標2 1(1) 施設の適正な整備			
P35 基本目標3 1(2) スポーツを通じた地域 活動の担い手への支援	中学校区で「総合型地域スポーツクラブ」が 設立出来る様、市が主導となり様々な方面に 働きかけ促進してほしい。 又、クラブとしても積極的に支援をしたい。	佐久市には現在、2団体しか総合型地域ス ポーツクラブがないので、認知度を高めス ポーツ振興を図るには新たなクラブの設立の 促進はとても重要である。既存クラブとして 経験と知識を提供し、個人・クラブとして全 面的に協力し少しでも役に立てればと思う。	地域におけるスポーツ活動の促進には、総合 型地域スポーツクラブなどの地域スポーツを 支える団体の役割が重要と認識してありま す。 市といたしましては、当該スポーツクラブの 市民認知度の向上のほか、新規クラブの設立 促進につながる情報発信などの支援をしてま いります。

箇所	意見等	意見等の理由	対応等
P22 P29 子どものスポーツ推進	P22子どものスポーツ推進に関する課題として、教師の長時間勤務、指導経験がない等の課題に対して、スポーツ推進委員等、市民を派遣する等して対応はできないか。子を持つ親の中には、学校のPTA等の参加は面倒だが、スポーツ等の指導、見守りなら可能という親もいるはず、放課後の時間等有効活用しながら、子どもの親世代の人材を学校と結びつけることができるのではないか。		国は部活動の地域移行を令和5年度から段階的に行うと示しており、当市でも検討を進めているところであります。1月に開催した地域スポーツ団体等を集めた意見交換会においても、指導に親が関わることについての意見が出ており、今後、検討を進めてまいります。
P22 P29 P30 働き盛り、子育て世代のスポーツ推進	スポーツ実施率が低い現状。P29(1)子どもの運動能力の向上についての施策に関し、保育園、幼稚園における運動プログラムとある。スポーツへの関わり、関心が少ない子どもは親も同様である可能性が高い(あくまで私見)。子どもと親をセットにした取組み、施策は必要。		子どもの頃に体を動かす喜びや楽しさを感じることは、生涯にわたりスポーツに親しむきっかけとなるものと認識しております。また、子どもと親をセットにした取組みは双方のスポーツ推進にアプローチできるため、今後もイベントやスポーツ教室等において参加の機会を設けていきたいと考えております。
P22 P31 高齢者のスポーツ推進	高齢者は「健康のため」「体力増進・維持のため」とスポーツをするための目的が明確である。適度なスポーツは「健康のため」になるはずであることから、スポーツをするきっかけが必要。高齢者は病院、整骨院等での受診が多いことから、こういった場所、定期的に顔を出す場所でのスポーツ教室、開催案内はいかがか。高齢者のスポーツ推進は、健康寿命を伸ばす観点や増大する医療費の縮減も期待できる。		高齢者のスポーツ推進は、健康寿命の延伸につながるとともに、医療費の縮減に寄与するものと認識しております。高齢者へのスポーツ参加を促す方法として、高齢者が多く集まる場所などでのスポーツ教室の開催、周知は効果的であるため、今後、取り組んでまいりたいと考えております。
P37 国スポ・全障スポに向けた人材育成等	記載のとおり本市にゆかりのある選手が参加活躍できるよう、特に実施予定競技の各年代のアスリートには今のうちから意識づけ等して強化していただきたい。市の体育協会各加盟団体から、現状と強化指定選手等を報告してもらおう等、積極的に進めて頂きたい。		令和10年開催予定の国スポ・全障スポで本市にゆかりのあるアスリートが活躍することは、市民の機運の醸成や、競技スポーツへの参加意識の高揚につながると認識しております。このため、体育協会や各種競技団体と連携して積極的なアスリートの発掘、育成、強化を図ってまいります。